



Title	ゾンゴ・ハウサ語（ガーナ）の会話テキスト
Author(s)	松岡, 秀哉
Citation	スワヒリ&アフリカ研究. 2025, 36, p. 114-132
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/100839
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ゾンゴ・ハウサ語（ガーナ）の会話テキスト

Dialog Texts of Zongo Hausa in Ghana

松岡 秀哉*

Matsuoka, Shuya

0. はじめに

スワヒリ語と並んでサブサハラ・アフリカを代表する言語の 1 つにハウサ語が存在する。アフロアジア語族チャド語派西チャド諸語に属するハウサ語は、ニジェール南部からナイジェリア北部のハウサランドを中心に約 8000 万人から 1 億人の話者を擁する大言語である¹⁾。その方言は、伝統的に東部方言（カノ方言、ザーリヤ方言など）と西部方言（ソッコト方言など）の 2 つに大きく分類されている。現在では、東部方言の 1 つであるカノ方言が標準ハウサ語 (Standard Hausa) とされており、ナイジェリア国内のメディアだけではなく BBC などの海外メディアのテレビ放送やラジオ放送において広く使用されている。特にナイジェリア国内では大手から地方紙に至るまでハウサ語の新聞が存在し、また 1990 年代には「ソーヤイヤー・ブックス」(恋愛本) と呼ばれる大衆本が流行するなど、活字メディアにおいても標準ハウサ語がある程度使用されている (塩田 2010: 2)。

ハウサ語は、カノやソッコトといったハウサランドの伝統的な都市だけではなく、西アフリカの大都市や北東アフリカのスーダン²⁾に存在するハウサ・ディアスポラ (ハウサ人コミュニティ) において、第 1 言語 (母語) として話されている。またハウサランドの周囲 (ニジェール川とベヌエ川以北のナイジェリア全域、カメルーン北部からチャド西部など) ではハウサ語を地域共通語 (リンガフランカ) とする地帯が広がっており、第 2 言語あるいは第 3 言語として広く話されている (松下 1992: 82; 塩田 2010: 1)。

これに加えて、ハウサランドから地理的に隔絶したガーナの都市部には、ハウサ語の言語島ともいえるゾンゴ (zongo)³⁾と呼ばれるムスリム居住区が点在しており、ハウサ語が異なる民族間の共通語として話されている。ガーナでは、ゾンゴ内で話されるハウサ語の定まった呼称は特に存在しないため、本稿ではゾンゴ内の共通語であり多くの話者にとって第 2 言語として使用されるハウサ語に「ゾンゴ・ハウサ語」("Zongo Hausa") という名称を付ける⁴⁾。

* 大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程 (Graduate School of Humanities, Osaka University)

¹⁾ 最新の *Ethnologue* 第 27 版 (Eberhard et al. eds. 2024) は、ハウサ語の話者人口を約 8800 万人と推定している。第 3 言語として話す話者も含めると、現在では 1 億人程度の話者がいると考えられる。

²⁾ スーダンのハウサ・ディアスポラは、イギリスに敗れたソッコトの王の末裔や西アフリカからのメッカ巡礼の途中で定住した人々を起源としている。Abu-Manga (1999) はスーダン・青ナイル州のハウサ・ディアスポラの歴史と同地で話されるハウサ語変種について記述している。

³⁾ ゾンゴという名称は、標準ハウサ語で野営地や隊商宿という意味の *zangò* と同源である。なお、現在ではゾンゴは北部からの移住者が多く集住する移民コミュニティとして認識されている。ゾンゴの社会的機能については、桐越 (2016, 2022) を参照。

⁴⁾ ガーナでは各都市にゾンゴが存在するが、ゾンゴ・ハウサ語の詳細な地域差については未調査であり、今後の課題である。本稿は、クマシのゾンゴで実施した聞き取り調査に基づく。

これまでゾンゴ社会は、西アフリカ都市人類学研究の重要な焦点となってきた一方で (e.g., Scildkrout 2007; Pellow 2008; Pontzen 2021)、ゾンゴ・ハウサ語の言語資料は僅かで、その全体像は未だ不明である。そこで本稿では、これまでに筆者がガーナのクマシのゾンゴで収録した会話テキストを主に用いて、標準ハウサ語や他のハウサ語方言と対照しつつ、ゾンゴ・ハウサ語の言語特徴を簡単に整理することを目的とする。

1. ガーナの言語事情とガーナにおけるハウサ語

ガーナ国内で現在使用されている言語の数は、83 である (Eberhard et al.eds.2024)⁵⁾。法的な位置付けは特になされていないものの、ガーナの事実上の公用語は英語であり、1957 年にイギリスから独立して以降、立法、行政、司法などのあらゆる場面で英語が使用されている。英語以外にガーナでは多くの現地語が話されている。そのうちアカン語、ガ語、エウェ語、ダガーレ語、ダグバニ語、ゴンジャ語、カセム語、ダンメ語、ンゼマ語の 9 言語は政府後援言語 (1951 年に設立されたガーナ言語局において教材刊行のために選ばれた言語) としてメディアで使用され、学校で科目として教えられている (古閑 2022: 153–155)。ガーナの現地語の中でも、特にアカン語 (ニジェール・コンゴ語族クワ語派) はガーナの広い地域で共通語として話されており、第 2 言語話者も含めるとガーナ国民の過半数によって話されている (古閑 2009: 467)。

ガーナ国内では、ハウサ語は約 60 万人の話者人口を擁する (Eberhard et al.eds.2024)。ハウサ語は、アカン語やエウェ語などとは異なり、学校で科目として教えられることはないが、特にゾンゴ内にはナイジェリアで出版されたハウサ語の書籍、標準ハウサ語によるテレビ放送やラジオ放送が存在する⁶⁾。なお、ハウサ語はガーナ土着の言語ではないものの、クマシに王都があるアシャンティ王国とハウサ諸王国間の各種交易⁷⁾において交易言語として使用されたり、植民地軍⁸⁾において共通語として使用されたりしたことで拡大したと考えられる。現在では、ハウサ語は基本的にガーナ在住のハウサ人による第 1 言語として、あるいはガーナ各地に点在するムスリム居住区ゾンゴにおける多様な民族間の共通語として使用されている。

⁵⁾ これにはガーナの現地語だけではなく、英語やフランス語などガーナの土着ではない言語や手話言語も含まれる。

⁶⁾ 調査協力者によると、ゾンゴの人々は日常的にナイジェリアのハウサ語テレビ放送や音楽を聴いているため、標準ハウサ語とゾンゴ・ハウサ語の差異についてはある程度意識している。また、クマシのゾンゴには Haske FM や Zuria FM といったゾンゴ・ハウサ語によるラジオ放送や、ゾンゴ・ハウサ語で歌う歌手も存在する。

⁷⁾ アシャンティ王国とハウサ諸王国間の交易とゾンゴの歴史的関係については、Wilks (1975: 256–261) 及び Schidkrout (2007: 67–74) を参照。

⁸⁾ 植民地軍ではハウサ語が共通語として使用されており、その言語資料は僅かに存在する。例えば、ゴールドコースト植民地警察 (Gold Coast Constabulary) におけるイギリス人士官向けのハウサ語の教科書として Rat (1889) があり、簡易的な文法説明と共にゴールドコースト植民地警察で勤務していたと考えられるハウサ人による自然談話とその英語訳が収録されている。なお、この軍内部で使用されていたハウサ語が、現在アクラやクマシのゾンゴで広く話されているハウサ語に影響を与えたと予想しているが、これについては別稿で詳しく論じたい。

ガーナのハウサ語研究に関しては、Zaria(1982: 177-183) がハウサ人とハウサ人以外によって第 1 言語として話されるハウサ語を「ガーナ方言」と呼び、その言語特徴について整理している。また、Sadat(2016) はガーナで母語話者が話すハウサ語を「ガーナ・ハウサ語」と呼び、ガーナのハウサ語にはハウサ語の「ガーナ方言」と呼べるものからピジンやクレオールに至るまで様々なレベルのものが存在するとしている。さらに Sadat(2023) では、ガーナにおけるハウサ語の社会言語学的状況を整理し、ガーナのハウサ語が英語や特にアカン語の影響を受けていると述べている。しかしながら、これまでの研究では第 1 言語としてのハウサ語が主として記述され、第 2 言語としてのハウサ語についてはごく断片的に報告されているだけである。また、アカン語と英語からの影響に関しても具体例が語彙の借用にとどまっているという課題が存在する。

2. ゾンゴ・ハウサ語の言語特徴

本節では、ゾンゴ・ハウサ語の言語特徴を整理する⁹⁾。まず、音韻的特徴としては、(1) のように放出音及び前声門化音が非放出音及び非前声門化音と合流することが挙げられる¹⁰⁾。

	SH	ZH	
(1) a.	kwai	kwai	「卵」
b.	tsuntsū	sunsu	「鳥」
c.	ḡērā	bēra	「ネズミ」
d.	kudī	kudi	「お金」

また、標準ハウサ語に存在する文法性の消失は様々なレベルにおいて生じる。(2) コピュラ、(3) リンカー（繫辞）、(4) 所有代名詞、(5) 一部の自然性を持つ名詞、(6) 疑問語、(7) 主語代名詞¹¹⁾において標準ハウサ語の男性形のみが使用されている¹²⁾。

⁹⁾ 本節で示したゾンゴ・ハウサ語の言語データは、全て筆者によるフィールドワークで収録したものである。それが第 3 節の会話テキストからの引用である場合は、対応する会話テキスト番号を逐一示す。標準ハウサ語の実例は特に断りがない限り、筆者の作例による。なお、本節以降、基本的に例文では標準ハウサ語を SH、ゾンゴ・ハウサ語を ZH と略す。また、本稿では、例文において低声調と下降声調を表記し、高声調については表記しないものとする。長母音については、母音上のマクロン記号によって表す。

¹⁰⁾ この音韻的特徴は、非母語話者によるハウサ語ではよくみられる現象である。

¹¹⁾ 主語人称標識と TAM からなるかばん形態 (portmanteau word) のことをハウサ語研究では伝統的に「主語代名詞」(subject pronouns) と呼んでいる。本稿では、この形態を「語」と認定できるかについては十分な議論を尽くせないで、便宜的に既存の術語に則り「語」として考える。

¹²⁾ ガーナでハウサ人が第 1 言語として話すハウサ語においても、自然性を持たない事物については、コピュラやリンカー（繫辞）において標準ハウサ語の男性形のみが使用される (Zaria 1982: 181-182)。また、筆者が 2024 年 8 月にカメルーンの首都ヤウンデのムスリム居住区であるブリケテリ街区 (Quartier Briqueterie) でハウサ人に対して聞き取り調査をした際、リンカー（繫辞）や所有代名詞において標準ハウサ語の男性形のみが使用されていた。

- (2) SH. **shī** **bàhaushè** **nē.** 「彼はハウサ人です。」
 3SG.M Hausa.M COP.M
- SH. **ita** **bàhaushiya** **cè.** 「彼女はハウサ人です。」
 3SG.F Hausa.F COP.F
- ZH. **ita** **bàhausà** **nē.** 「彼女はハウサ人です。」
 3SG.F Hausa COP
- (3) SH. **itāce=n** **kòkō** 「カカオの木」
 tree.M=LIN.M cacao
- SH. **gōna=r** **kòkō** 「カカオの畑」
 farm.F=LIN.F cacao
- ZH. **gōna=n** **kòkō** 「カカオの畑」(会話テキスト 16)
 farm=LIN cacao
- (4) SH. **ùbā=n=ā** 「私の父親」
 father.M=LIN=1SG.POSS
- SH. **uwā=t=ā** ¹³⁾ 「私の母親」
 mother.F=LIN.F=1SG.POSS
- ZH. **mmà=n=ā** 「私の母親」
 mother=LIN=1SG.POSS
- (5) SH. **nī** **da=n** **Japan** **nè.** 「私 (M.) は日本人です。」
 1SG son.M=LIN.M Japan COP.M
- SH. **nī** **'ya=r** **Japan** **cè.** 「私 (F.) は日本人です。」
 1SG daughter.F=LIN.F Japan COP.F
- ZH. **nī** **da=n** **Japan** **nè.** 「私 (F.) は日本人です。」(会話テキスト 3)
 1SG son=LIN Japan COP
 「私は日本人です。」

¹³⁾ =t は=r (標準ハウサ語のリンカーの女性形) の基底形である。

(6) SH. **yâu wàcè¹⁴⁾ rānā cè?**
 today which.F day.F COP.F

ZH. **yâu wàni rāna nē?**
 today which day COP
 「今日は何曜日ですか？」

(7) SH. **inā yakè yānzu?** 「彼は今どこにいますか？」
 where 3SG.M.CONT now

SH. **yâyâ miyà=r takè?** 「そのスープはどうですか？」
 how soup.F=DEF.F 3SG.F.CONT

ZH. **yâ miyà=n yakè?** 「そのスープはどうですか？」(会話テキスト 12)
 how soup=DEF 3SG.M.CONT

さらに、ゾンゴ・ハウサ語は西部方言の言語特徴を持つ。例えば、(8) のように標準ハウサ語の 3 人称男性単数の所有代名詞は=**sà** であるが、ゾンゴ・ハウサ語では=**shì** である。これは西部方言でみられる形式である (cf. 松下 1991: 10)。また、(9) のように標準ハウサ語では近称の指示詞として **wannàn** が名詞に前置されるが、ゾンゴ・ハウサ語では **gà** が名詞に後置されることがある。この形式についても特に西部方言でみられる形式である (cf. 松下 1991: 9)。

(8) SH. **gida=n=sà**
 house.M=LIN.M=3SG.M.POSS

ZH. **gida=n=shì**
 house=LIN=3SG.M.POSS
 「彼の家」

(9) SH. **bābù gida=n àbinci cikin wannàn ùnguwa.**
 EXS.NEG house=LIN.M food in DEM.PROX quarter

ZH. **bā restaurant ùnguwa=n gà.**
 EXS.NEG restaurant quarter=LIN DEM.PROX
 「この街区にレストランはありません。」(会話テキスト 5)

¹⁴⁾ 標準ハウサ語では、疑問語「どの」は **wàné** (M.) **wàcè** (F.) **wàḡānnè** (PL.) と性や数によって語形が異なる。

なお、ゾンゴ・ハウサ語に特有と考えられる言語特徴としては、(10)~(12) のように語の短縮が頻繁にみられることが挙げられる。

(10) SH. **sànnu dà zuwà.**

INTJ with come.VN

ZH. **san dà zuwà.** 「ようこそ。」(会話テキスト 1)

(11) SH. **nā ganī dà yawà.**

1SG.PRF see with amount

ZH. **nā gagani¹⁵⁾ dēwà.**

1SG.PRF see many

「私は何度も見たことがあります。」(会話テキスト 15)

(12) SH. **yâyâ kikè?**

how 2SG.F.CONT

ZH. **yà kikè?** 「あなた (F.) はご機嫌いかがですか？」(会話テキスト 1)

また、ゾンゴ・ハウサ語に特有と考えられる現象として、一般疑問文(Yes-No 疑問文)において (13)・(14) のように疑問文標識である **àlân** が文頭に置かれることがある。

(13) **àlân kai da=n makaranta nè?**

Q 2SG.M son=LIN school COP

「あなた (M.) は学生ですか？」(会話テキスト 3)

(14) **àlân àkwai restaurant nân?**

Q EXS restaurant here

「この近くにレストランはありますか？」(会話テキスト 5)

この疑問文標識 **àlân** は、標準ハウサ語や他の諸方言に類似した形式がない。アカン語の疑問文標識 **anáá** に由来すると考えることもできるが、これは (15) のように文頭ではなく文末に置かれる点で異なる。

¹⁵⁾ ここでは動詞に重複が生じている (SH. **ganī** vs. ZH. **ga-gani**)。標準ハウサ語においてこのような動詞の重複はあまりみられない現象であるが、これが他の動詞で生じるかについては今後調査したい。

(15) アカン語の例

wó=yɛ ɔsūáni anáá?

2SG=be student Q

「あなたは学生ですか？」(古閑・アンボンサー 2009: 19 を改変)

指示詞体系については、標準ハウサ語と大きく異なる特徴を持つ。例えば、(16) のように近称の指示詞として **wan** が使用される。

(16) SH. **wannàn àbōkī=n=ā nē.**

DEM.PROX friend.M=LIN.M=1SG.POSS COP.M

ZH. **wan àbōkī=n=ā nē.**

DEM.PROX friend=LIN=1SG.POSS COP

「これは私の友人です。」(会話テキスト 2)

また、(17) のように標準ハウサ語では遠称の指示詞として **can** が名詞に後置されるが、ゾンゴ・ハウサ語では **nan** が名詞に後置される。この指示詞 **nan** は、標準ハウサ語では近称の指示詞として使用される。

(17) SH. **yanà bāyan fari=n gida=n can.**

3SG.M.CONT behind white.M=LIN.M house=LIN.M DEM.DIST

ZH. **yanà bāyan fari=n gida=n nan.**

3SG.M.CONT back white=LIN house DEM.DIST

「あの白い家の後ろにあります。」(会話テキスト 5)

さらに (18) のように指示詞の複数形も標準ハウサ語とゾンゴ・ハウサ語で異なる。

(18) SH. **wafānnān kuma mènē nē?**

DEM.PROX.PL also what COP.M

ZH. **warānga kuma mène nē?**

DEM.PROX.PL also what COP

「これらは何ですか？」(会話テキスト 6)

3. ゾンゴ・ハウサ語の会話テキスト

本節では、具体的な言語資料として、日本語で書かれたアカン語の教科書である古閑・アンポンサー (2009) に収録された 19 の会話テキストのゾンゴ・ハウサ語訳を示す¹⁶⁾。調査協力者はガーナ北部に位置するブルキナファソ及びトーゴとの国境の町ボク出身の 20 代のクサシ人の男性である。彼は第 1 言語としてクサシ語 (ニジェール・コンゴ語族グル語派) を、第 2 言語としてハウサ語を話す。またガーナで広く共通語として機能しているアカン語を話す。特にクマシのゾンゴはアカン語圏に囲まれているため、ゾンゴの人々の多くはアカン語をある程度話すことができる。そのため調査¹⁷⁾においてはアカン語を媒介言語としてハウサ語の聞き取りを行い、特に初期調査においては古閑・アンポンサー (2009) の例文を便宜的に文法質問票として使用した。

【会話テキスト 1】

- Mari: **Kòfi!**
 コフィ！
- Kofi: **Mari, san dà zuwà.**
 マリ、ようこそ！
- Mari: **Kòfi, san dà rāna.**
 コフィ、こんにちは！
- Kofi: **sànnun kadē¹⁸⁾. yà kikè?**
 こんにちは。ご機嫌いかが？
- Mari: **inà lāfiyà sòsai. kai fa?**
 元気。あなたは？
- Kofi: **nī mā inà lāfiyà. mù jē gida.**
 僕も元気。うちに行こう！

【会話テキスト 2】

- Kofi: **Kwāmè, san dà rāna.**
 クワメ、こんにちは！

¹⁶⁾ ここで挙げる会話テキストの日本語訳は基本的に古閑・アンポンサー (2009) に則っているが、一部筆者が改変している。また会話の内容や背景が話者に伝わらなかった場合は、一部テキストの内容を筆者が改変もしくは省略している。会話テキスト番号は筆者が便宜的に付けたものであり、会話テキスト 1 が教科書の 2 課、会話テキスト 2 が教科書の 3 課に該当する。記述言語学的研究においては、例文に文法情報としてグロスを付けることが一般的であるが、現段階においては十分な分析が進んでいない箇所がいくつか存在するため、大きな課題であると認識はしているものの、全体的にグロスは付けていない。なお、当該言語の文法概要 (文法スケッチ) は別稿でまとめる。

¹⁷⁾ 調査は 2022 年 9 月、2023 年 2-3 月、2024 年 11 月にクマシの aboabo 地区で実施した。

¹⁸⁾ 標準ハウサ語の **sànnu kadai** (INTJ only) に由来すると考えられる。

Kwaame: **sànnun kadē. kanà lāfiyā?**

こんにちは。元気？

Kofi: **lāfiyā. kai fa?**

まあね。君は？

Kwaame: **lāfiyā.**

元気。

Kofi: **Kwāmè, wan àbōkīnā nè.**

クワメ、こちらは友達。

Kwaame: **kō?**

そう？

(マリに向かって)

Kwaame: **yā sūnanki?**

名前は何ですか？

Mari: **sūnānā Mari Suzuki. kai fa, yā sūnankā?**

鈴木マリです。あなたの名前は？

Kwaame: **sūnānā Kwāmè Òwusu. Mari, yàushè akà àifē kì?**

クワメ・オウスです。マリ、何曜生まれですか？

Mari: **ran jumma.**

金曜生まれです。

Kwaame: **shì dē, nā kirā kì dan jumma.**

では、アフィア¹⁹⁾と呼びましょう。

【会話テキスト3】

Kwaame: **Mari, inā kika fito?**

マリ、出身はどこですか？

Mari: **nā fito dàgà Japan. nī dan Japan nè. kai kuma fa? kai dan àsantè nè?**

日本から来ました。日本人です。あなたは？アサンテ人ですか？

Kwaame: **àà, nī bà dan àsantè ba nè. nī dan Nkàra nè.**

いいえ、アサンテ人ではありません。ガ人です。

Mari: **àlân kai dan makaranta nè?**

学生ですか？

¹⁹⁾ アカン人は、生まれた曜日によって異なる名前を持つ。各曜日には男性と女性の名前があり、例えばアフィアは金曜生まれの女性の名前である。ここではアフィアが **dan jumma** (son Friday) と訳されているが、これは無理やりにアフィアを訳したもので、一般的には使用されない形式であると考えられる。

Kwaame: **ē, nī dan makaranta nè dàgà Cape Coast Sùàpon.**

はい、ケープコースト大学の学生です。

Mari: **kō? nī mā dan makaranta nè dàgà Legon Sùàpon.**

本当？私もレゴン大学²⁰⁾の学生です。

【会話テキスト 4】

Kwaame: **Mari, àlân kin kōyu Twîn nan dàgà Legon Sùàpon?**

マリ、レゴン大学でアカン語を勉強しているんですか？

Mari: **àà, bàn kōyu Twîn nan dàgà Legon Sùàpon.**

いいえ。レゴン大学でアカン語は勉強していません。

nā kōyu Hausân nan woren. kai kuma fa?

ハウサ語を勉強しています。あなたは？

Kwaame: **nā kōyu tūranci. kinà jîn Twi sòsai.**

英語を学んでいます。アカン語、とても上手ですね。

kin yi kòkari. inà sônki àbuyà²¹⁾.

すごいなあ！友達になってください。

【会話テキスト 5】

Mari: **àbuyà, yankùri, postofficen yakè?**

お姉さん、すいません、郵便局はどこですか？

Awuraa: **jè gàba, shē kì bi ago. yanà woren.**

まっすぐ行って、左に曲がりなさい。そこにあるわ。

Mari: **àlân àkwai restaurant nân?**

この近くにレストランはありますか？

Awuraa: **àà, bâ restaurant ùnguwangà.**

いいえ。この近くにレストランはないわ。

in dē kanà sôn àmpèsie nè àkwai wani.

アンペシ²²⁾なら 1 件あるけど。

Mari: **inā yakè?**

どこですか？

Awuraa: **yanà bāyan farin gidan nan.**

あの白い建物の後ろにあるわ。

²⁰⁾ レゴン大学とは、首都アクラのレゴン地区に本部があるガーナ大学のことである。

²¹⁾ 標準ハウサ語の **àbōkiyā** 「(女性の) 友達」に対応する。ここでもある種の短縮が生じている。

²²⁾ アンペシとは、プランテンやヤムイモを茹でたものにシチューを添えて食べる料理のことである。

【会話テキスト 6】

- Kofi: **Mari, yankùri, zò kì gàni.**
マリ、ちょっと来てみて。
- Mari: **mène nè? warànga kuma mène nè?**
何？これ何？
- Kofi: **rōgò. dùndù dà mànkàni.**
キャッサバ、ヤム、それにココヤムだよ。
wan rōgò nē. shī kuma dùndù.
これがキャッサバ。それがヤム。
shī wan kuma mànkàni.
そしてこれがココヤムだよ。
- Mari: **shì dē, wan kuma mène nè?**
じゃあ、これは何？
- Kofi: **kòntomre nè. anā miyà dà shi.**
それはココヤムの葉っぱだよ。スープに使うんだ。

【会話テキスト 7】

- Mari: **màcè, ko lafiyā!**
おばさん、おはようございます²³⁾。
- Awuraa: **lafiyā lau. gā kujèra. zàunà.**
おはよう。はい、椅子。座りなさい。
- Mari: **nā gōdì.**
ありがとうございます。
(椅子の上の布を見て)
- Mari: **yanā dà kyāu sōsai. kentengà na wāne nè?**
まあ、きれい。これ、誰のケンテ²⁴⁾ですか？
- Awuraa: **na Kòfi nè.**
コフィのよ。
- Mari: **kentengà na wāne nè?**
そしてそれは誰のケンテですか？
- Awuraa: **nāwa nè.**
私のよ。

²³⁾ 標準ハウサ語における一般的な朝の挨拶としては、**inā kwānā?** や **barkā dà sāfiyā.** があるが、ゾンゴ・ハウサ語ではあまり使われない表現である。

²⁴⁾ ケンテとは、色鮮やかなパターンと幾何学模様が特徴の伝統的な織物のことである。

Mari: **yanà dà kyâu gèskiyā.**
本当にきれいですね。

【会話テキスト 8】

Mari: **mmà, bòdien nan nawà nē?**
おばさん、そのプランテンいくらですか？

Maame: **jā²⁵⁾ biyu.**
2 セディよ。

Mari: **bà ni ukù. kòbin nan nawà nē?**
3 つください。干ティラピアはいくらですか？

Maame: **jā hudu.**
4 セディよ。

Mari: **yanà dà sàda kwarai. ràgè minì kàdan.**
高すぎます。ちょっとまけてください。

Maame: **kàwo jā ukù dà jā rabì.**
3 セディ 50 ペソアちょうだい。

Mari: **tô. bà ni biyu. gā kudi.**
ええ。2 つください。はい、お金。

Maame: **gā change.**
はい、おつり。

Mari: **nā gōdì sòsai.**
どうもありがとう。

【会話テキスト 9】

Ama: **Mari, zò nân gà.**
マリ、ちょっと来て！

Mari: **mènē nē?**
何？

Ama: **wànkè minì rōgòn nan. kaki wànkè shi woren. wànkè shi nan.**
そのキャッサバを洗って。そこで洗わないで。向こうで洗って。

Mari: **nā kārè.**
終わったよ。

²⁵⁾ **jā** は「赤い」と言う意味の形容詞であるが、ガーナの旧 1 セディ札が赤色であるため、1 セディが **jā** と呼ばれることもある。なお、現在のガーナの 1 セディはお札ではなく硬貨が一般的に使用されている。

Ama: **dìbi minì ruwa kàdan. bâ tankwa.**
ちょっと水をくんできて。トウガラシがないわ。
Mari, jè kâsuwa kî sau minì tankwa.
市場でトウガラシを買ってきて。

【会話テキスト 10】

Mari: **Ama, wàni àbinci kíkè dafâwa?**
アマ、何の料理を作っているの？
Ama: **inà dafâ sakora. kanà sôn sakora?**
フフを作っているのよ。フフは好き？
Mari: **ē. inà sôn sakora sôsai. yànzù mè kíkè dafâwa?**
ええ、大好き。今、何をゆでているの？
Ama: **inà dafâ rōgò dà bòdie. Mari, Kofi yanà kōyun àbù?**
キャッサバとプランテンをゆでているの。マリ、コフィは勉強してる？
Mari: **àà, bē kōyun àbù. yanà dūban tībì.**
いいえ、勉強してないわ。テレビを見てるわ。
Ama: **yankùri, kirà minì shī.**
ちょっと、呼んできて。

【会話テキスト 11】

Ama: **nā dafâ rōgò dà bòdie. bar mù dakà sakora!**
ヤムとプランテンがゆであがったわ。フフをつきましよう！
Mari: **bar in dakà sakora kàdan. yā akè rikāwa?**
ちょっと私にもフフをつかせて！こんな風に持つの？
Ama: **rikā shi akà.**
こんな風によ。
Mari: **yanà dà nauyī. dūba! nā iyàn dakà!**
重い。見て！できるわ！
Ama: **kin yi kōkari! in kin gājī, bari kofi yà dakà.**
すごいじゃない！疲れたら、コフィにやらせて。
(コフィ、マリに代わる)
Ama: **mun kārè àbincin.**
できたわ。
Mari: **inà jīn yunwā sôsai! mù ci àbinci!**
すごくおなかがすいた！食べましよう！

【会話テキスト 12】

- Ama: **Mari, yà miyàn yakè?**
マリ、スープはどう？
- Mari: **yanà dà dādi sòsai.**
とてもおいしいわ。
- Ama: **bē dà zāfi sòsai?**
辛すぎない？
- Mari: **yanà dà zāfi kàdan. àmmā inà sôn mei zāfi.**
少し辛いわ。でも私、辛いものが好きなの。
- Ama: **kà ribi dundù kàdan kì kārà.**
ヤムももう少しどうぞ。
- Mari: **nā gōdì. yankùri, bà ni kàramin dundùn.**
ありがとう。その小さいヤムをちょうだい。
- Ama: **Mari, tàunà sakoran! hàdiyè!**
マリ、フフを噛んじゃだめよ！飲み込みなさい！
- Mari: **anà hadiye sakora nè?**
フフを飲み込むの？

【会話テキスト 13】

- Kofi: **Mari, inā kika jē jiyà?**
マリ、昨日どこに行ったの？
- Mari: **nā jē shāgon sīdì cikin kùnmāsi.**
クマシの CD ショップに行ったの。
- Kofi: **mè kika sei?**
何を買った？
- Mari: **nā sei kàsētùn Kwadwo Antwi kàdan.**
コジョ・アンチュイの CD を何枚か買ったわ。
- Kofi: **bar in dūbà! kinà sôn wākan Kwadwo Antwi? àlān an regè miki?**
見せて！コジョ・アンチュイの歌が好きなの？まけてくれた？
- Mari: **àà, bà regè ba.**
ううん、まけてくれなかったわ。
- Kofi: **mè kuma kika sei?**
他に何を買った？
- Mari: **bàn sei kōmi ba.**
他には買ってないわ。

【会話テキスト 14】

- Mari: **Kòfi, gòbe inā zā kà?**
コフィ、明日はどこへ行くの？
- Kofi: **gòbe nā jē kùmāsì. àkwai makōkī.**
明日はクマシに行くんだ。お葬式があるんだよ。
rāfānīnā yā rāsu.
僕のおじさんが亡くなったんだ。
- Mari: **allā yā jì kànshì. yàushè yā mutù?**
まあ、ご愁傷さま。いつ亡くなったの？
- Kofi: **bāyan bakwài biyu.**
2 週間前。
- Mari: **àlān mmà tā jē wani?**
お母さんも行くの？
- Kofi: **àà, bā tā zuwà. tanā dà aikin yì.**
ううん、行かない。仕事があるから。
- Mari: **shì de nī dà kai mun jē.**
じゃあ、私も一緒に行く。
- Kofi: **tô. kinā dà bakin zānì kō jā?**
いいよ。赤か黒の布 ²⁶⁾持ってる？

【会話テキスト 15】

- Kofi: **Mari, kin tabà zuwà Ntònso?**
マリ、ントンソに行ったことある？
- Mari: **àà, bàn tabà zuwà Ntònso ba.**
いいえ、ントンソに行ったことはないわ。
nā san yā cì sūnā cikin zānnukan àdinkra.
アディンクラ布 ²⁷⁾作りで有名なのは知ってるけど。
- Kofi: **gèskiyā nè. kin tabà ganin àdinkra?**
そのとおり。アディンクラは見たことある？
- Mari: **nā gagani dēwà.**
何度も見たことあるわ。
- Kofi: **Mari, yāu, bari mù jē mù gani Ntònso?**
マリ、今日ントンソに行ってみる？

²⁶⁾ アカン人の喪服の色は赤か黒である。

²⁷⁾ アディンクラ布は、アディンクラと呼ばれるシンボルを施した布のことである。

Mari: **ē, mù jē!**

うん、行きましょう！

Kofi: **shī de, mun ci àbinci mun kari shē mù jē.**

じゃあ、食事が終わったら、出発しよう。

【会話テキスト 16】

Mari: **Kòfī, inā zā kà?**

コフィ、どこ行くの？

Kofi: **zā nì in gai dà kākānā dàgà Màmpon.**

マンポンにいるおばあちゃんにあいさつに行くところ。

Mari: **nā iyà in bī kà?**

一緒に行っていい？

Kofi: **tô. shī de mù jē mù sei kòbī.**

もちろん。じゃあ、干ティラピアを買いに行こう。

(コフィのおばあさんの家に到着)

Kofi: **kākā, ko lafiyā.**

おばあちゃん、おはよう！

Nana: **lāfiyā lau, jīkānā.**

おはよう、孫や。

Kofi: **kākā, inā zā kī?**

おばあちゃん、どこに行くの？

Nana: **zā nì gōnan kōkōnā. zā nì in yi nōma.**

カカオ畑に行くんだよ。草とりをしにね。

Kofi: **shī de zā mù mù tànyē kī.**

じゃあ、僕たちも行ってみようよ。

【会話テキスト 17】

Kofi: **nân nè gidan sarkī.**

ここが首長の家だよ。

Mari: **àlân àkwai sarkī?**

首長はいると思う？

Kofi: **yanà men kàman yanà nân. àmmā bàn tàma yanà nân gèskiyā ba.**

いるようだけど。でも本当にいるかは分からないな。

in dē yanà nân, àlân kanà sôn kai yi gaisuwā nè?

いたら、首長に挨拶したい？

Mari: **ē, inà sôn in gaishē sarkī.**

ええ、首長にあいさつしたいわ。

Kofi: **gaisuwā dē kâ iyà kà gaishē shì. àmmā bâ anyā kà yi mǎgānā dà sarkī.**

あいさつはできるよ。でも、首長に直接話してはだめだよ。

【会話テキスト 18】

Kofi: **Mari, bari mù jē gidan sarkī Mǎnhyia yāu?**

マリ、今日はマンシア宮殿に行こうか？

Mari: **mènē nē? mē akē yi woren?**

どうして？何があるの？

Kofi: **àkwai sannarwā. sarkin àsantè dà sàràkanshì zâ sù gǎmu.**

評議会があるんだよ。アサンテ王や王たちが集まるんだ。

Mari: **nâ iyà in gani sarkin asantāwa?**

アサンテ王に会える？

Kofi: **ē, kâ iyà kà gani sarkin asantāwa yāu.**

うん、今日はアサンテ王に会えるよ。

Mari: **nâ iyà in gai dà shì?**

あいさつできる？

Kofi: **àà, bâ kà iyāwa. in dē bâ bā kà anyā ba, bâ kà iyà kà gai dà shì.**

ううん、あいさつはできない。許可をもらえないと、あいさつできないんだ。

Mari: **nâ iyà in yankā shi fotò?**

写真、撮れる？

Kofi: **àà, bâ kà iyāwa.**

ううん、だめ。

【会話テキスト 19】

(マリ、日本へ帰る準備をしている)

Kofi: **Mari, in kin kōmā Japan, mē zâ kī yi?**

日本へ帰ったら何をするの？

Mari: **kā yi tǎmbayā na farkō, yā ci in kārì Sùāpon tǔkùn.**

そうね、まず大学を卒業しないと。

Kofi: **in kin kārì Sùāpon, mē zâ kī yi?**

卒業したら何をするの？

Mari: **yānzū akā bàn sanì ba.**

今は分からないわ。

Kofi: **zò kɪ yi aikì cikin Gānà. in kin yi akà, nā ji dādi.**

ガーナに来て仕事をしてよ。そうすれば、うれしいな。

Mari: **ē, nā kuma zō Gānà. in dē in nà kuma zō Gānà, mun jē wuri dēwā.**

そうね、またガーナに帰ってくるわ。そしたらまた、いろんなところ行こう。

Kofi: **tô.**

もちろん。

4. おわりに

本稿では、ガーナのムスリム居住区であるゾンゴの共通語であり主に第2言語として使用されるゾンゴ・ハウサ語の言語特徴を整理し、簡易的ではあるもののその言語資料を提示した。本稿で挙げた共通語/第2言語としてのハウサ語だけではなく、ゾンゴ内にはナイジェリア出身のハウサ人が暮らしていることもあり、標準ハウサ語に近いハウサ語もある程度話されている。またハウサランドからゾンゴに移住したハウサ人が話すガーナのローカルなハウサ語も話されている。ゾンゴ・ハウサ語といっても、その内部には多様な変種 (variety) が存在している。

今後の課題としては、多言語社会であるゾンゴの具体的な社会言語学的状況を明らかにするとともに、様々なハウサ語変種、それぞれの民族語、アカン語の間で生じているであろう多様な言語接触現象について記述を進めることである。

略語一覧

1,2,3: 人称、CONT: 継続、COP: コピュラ、DEF: 定冠詞、DEM: 指示詞、DIST: 遠称、EXS: 存在詞、F: 女性、INTJ: 間投詞、LIN: リンカー、M: 男性、NEG: 否定、OBJ: 目的語、PL: 複数、POSS: 所有、PRF: 完了、PROX: 近称、Q: 疑問文標識、SG: 単数、VN: 動名詞、(-): 形態素境界、(=): 接語境界

謝辞

本研究は、科研費 (19H01254) 及び日本学術振興会特別研究員奨励費 (24KJ1630) により研究費補助を受けています。また、これまで研究を通してお世話になった全ての方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

参考文献

- Abu-Manga, Al-Amin. 1999. *Hausa in the Sudan: Process of Adaptation to Arabic*. Köln: Rudiger Koppe Verlag.
- Eberhard, David M., Gary F. Simons & Charles D. Fennig (eds.) 2024. *Ethnologue: Languages of the World*. 27th edition. Dallas, Texas: SIL International. <http://www.ethnologue.com>.
- Pellow, Deborah. 2008. *Landlords and Lodgers: Socio-Spatial Organization in an Accra Community*. Chicago & London: The University of Chicago Press.
- Pontzen, Benedikt. 2021. *Islam in a Zongo: Muslim Lifeworlds in Asante, Ghana*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Rat, J. Numa. 1889. *The Elements of the Hausa Language, or a Short Introductory Grammar of the Language*. London: Waterlow & Sons, Printers, London Wall.
- Sadat, Mohammed. 2016. *Some Aspects of the Phonology and Morphology of Ghanaian Hausa*. Saarbrücken: Lambert Academic Publishing.
- Sadat, Mohammed. 2023. “Sociolinguistic Aspects of the Spoken Version of Hausa in Ghana” *Ghana Journal of Linguistics*, 12: 1–23.
- Schidkroun, Enid. 2007. *People of the Zongo: The Transformation of Ethnic Identities in Ghana*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Wilks, Ivor. 1975. *Asante in the Nineteenth Century: The Structure and Evolution of a Political Order*. Cambridge & New York: Cambridge University Press.
- Zaria, Ahmadu B. 1982. “Issues in Hausa Dialectology”, Doctoral dissertation, Indiana University.
- 桐越仁美. 2016. 「コーラナッツがつなぐ森とサバンナの人びと: ガーナ・カカオ生産の裏側で」 重田眞義・伊谷樹一 (編) 『争わないための生業実践: 生態資源と人びととの関わり』 (アフリカ潜在力シリーズ第4巻) pp.85–118. 京都大学学術出版会.
- 桐越仁美. 2022. 「ガーナ国内における季節労働の実態: アッパー・ウェスト州からの州外移住に着目して」 『国土館人文学』 12, 41–64.
- 古閑恭子. 2009. 「アカン語」 梶茂樹・中島由美・林徹 (編) 『事典 世界のことば 141』 pp.466–469. 大修館書店.
- 古閑恭子. 2022. 『フィールドワークではじめる言語学: なじみのない言語から考える』 ひつじ書房.
- 古閑恭子・アンボンサー, サミュエル. 2009. 『2009 年度言語研修「アカン語」テキスト』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 塩田勝彦. 2010. 『ハウサ語基礎文法』 大阪大学出版会.
- 松下周二. 1991. 『ハウサ語ソコト方言』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 松下周二. 1992. 「ハウサ語」 亀井孝・河野六郎・千野栄一 (編) 『言語学大辞典』 (第3巻) pp.82–85. 三省堂.